

CIPFAJ ジャーナル 執筆要綱

- 複雑な図の作成は認めない。表形式のもののごく簡単な図表のみの掲載とする。
- 論文の各節の構成は下記のエメラルド方式によるものとする。はじめに以下の文言の変更は自由であるが、各節の内容は下記に準じたものとする。こと。
 - 1 はじめに
 - 2 先行研究
 - 3 研究デザイン
 - 4 考察（1）
 - 5 考察（2）
 - 6 考察（3）
 - 7 結論
- <https://www.emeraldgrouppublishing.com/explore-our-content/journals>
- 先行研究に筆者一部加筆というパターンの図表の掲載は剽窃のリスクがあるため不可とする。図の掲載はオリジナルな図表に限定する。また、1 査読論文当たりの「図」は、原則として最大でも2つに収めることとする。
- 原稿は、論題、氏名、要旨、本文、注（脚注は不可、後注のみ可。ワード等の脚注機能等の使用は禁止する）、参考文献、肩書の順序でまとめること。
- I 1（1）といった見出しをはじめ、原稿の書式・整形はこれまで創刊された CIPFAJ ジャーナルの書式・整形を遵守すること。
- 本文中のワードの注記機能やタブ機能を使用した原稿は受領しない。
- 参考文献には、当該論文で引用したものに限定して掲載すること。
- 最終提出のファイルは本文のワードとPDF、すべての図表のワードもしくはエクセルもしくはPPTのファイルとする。ただし、簡単な「表」については、本文中に記載の原稿で最終原稿とすることができる。
- 提出のファイルのファイル名は下記のとおりとする。
 - （山田太郎）CIPFAJJ No08 本文
 - （山田太郎）CIPFAJJ No08 図表1
- ファイルで提出された図表の原稿本文中の挿入位置については、下記のとおりとする。
 -
 -
 - 図表1 挿入 ← 本文中の挿入位置にこの文言を記載する
 -
 -
- 本細則に定める書式（脚注、図の形式や数を含む）に合致しない原稿は、受領・査読を行わない（Desk Reject）。また、提出方法に即さない原稿は受け付けない。
- 誤字や脱字が多くみられる原稿は、査読前の段階で却下（Desk Reject）とする。

最終改訂：2023年12月17日